授業科目	保育実習指導Ⅰ					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	通年
担当教員	篠木　賢一、笠　修彰、池田　佐輪子						
授業概要	この授業は、保育実習(保育所実習ⅰⅠ、施設実習 Ⅰ)を円滑に進めていくための知識・技術を習得し、 保育実習の意義・目的・内容・方法について理解し、自己の課題を明確化するとともに、実習の振り 返りを通して、実習体験を深めることを目的とする。そのために、事前指導として学内において講義 や実務家教員による保育現場での事例に基づいた検討やグループワークなどを用いた演習、実習施設において見学・オリエンテーション等を行う。また、 事後指導として、実習の振り返りや実習施設の評価を通して自己評価を行う。さらに、実習記録の意義及び実習記録の書き方、実習にかかわる事前事後の事務手続きの方法についても説明する。 なお、保育実習指導への出席を、保育実習(保育所実習 Ⅰ、施設実習 Ⅰ)を実施するための必須条件とする。						
授業形態	講義			授業方法	適宜グループワークたディスカッションを取り入れる。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 保育実習の意義・目的について説明できる。 2. 保育実習に対する心構えをもち、実習課題を明確化できる。 3. 実習記録の意義・方法を理解し、実際に記録できる。 4. 実習施設の概要について説明できる。 5. 実習施設における担当保育士の指導を通して、保育内容や子どもへの理解を深める。 6. 保育実習に関する事務手続きについて把握し、適切に処理できる。 7. 実習の事後指導及び実習施設の評価をもとに、自己評価を行い、新たな学習目標や課題を明確にする。 上記の達成すべき行動目標についていずれもできている。
理想的レベル	標準的なレベルに加え、自主的かつ積極的に課題の設定に取り組み、絵本、教材、てあそびなどの教材研究を積極的に行い、実習に真摯に取り組む姿勢を持つ。また、各種提出物についても、検討・省察が加われており、深く洞察されている。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	70%	各種提出物の提出状況を評価対象とする。提出の遅延は大きく減点し、未提出は実習不可とする。
その他	30%	受講態度や授業中のマナーを実習に参加するために必要な準備ととらえ評価対象とする。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	CH31601J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	1

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション、保育実習Ⅰの意義・目的・内容について（篠木・笠・池田） 授業の進め方とルールについて説明し、保育実習全体の意義と目的について解説する。
第 2 回	保育所実習・自主実習のねらいと内容・保育所保育指針について（篠木・池田） 保育所実習のねらいとその内容について解説する。
第 3 回	施設実習のねらいと内容（笠） 施設実習の意義とねらいについて解説する
第 4 回	実習先の調査と研究（篠木・池田） 保育所実習の実習先について理解を深める
第 5 回	保育士としての基本（篠木・池田） 実習中のマナー、電話のかけなたなどについてロールプレイを用いた演習を行う
第 6 回	施設の理解 1（笠） 児童福祉施設の種類や役割についての理解を深める
第 7 回	施設の理解 2（笠） 児童福祉施設のうち、養護系施設についての理解を深める
第 8 回	全体的な計画と指導計画(池田･篠木) 全体的な計画と指導計画について解説し、演習を用いて理解を深める
第 9 回	施設の理解 3（笠） 児童福祉施設について現場の福祉職の講義を聞き、理解を深める
第 10 回	施設の理解４(笠) 養護系施設についての理解を深める
第 11 回	実習日誌の意義と記入方法：保育所(池田・篠木) 実習日誌の意義と記入方法を解説しワークを行う施設の
第 12 回	実習に関する書類の作成（篠木・池田） 実習書類の重要性と必要性について解説し、実習のために必要な書類を作成する
第 13 回	実習の服装、身だしなみ、態度について（篠木・池田） 実際に実習に取り組む服装や身だしなみ、態度について具体的に学ぶ
第 14 回	保育士としての倫理と個人情報の保護（池田・篠木） 基本的な職業倫理と個人情報の保護について実習生の立場から学ぶ
第 15 回	自主実習に向けての諸連絡（池田・篠木） 自主実習のための連絡事項などを伝える
第 16 回	オリエンテーション・施設実習について・保育所実習に向けての教材づくり（笠・篠木・池田） 後期実習指導の進め方と施設実習の実習先について 教材づくりの課題について

第 17 回	実習日誌の書き方・指導計画（池田・篠木） 自主実習の日誌の振り返りと保育所実習における指導計画について
第 18 回	保育士としての倫理と最善の利益の保障（池田・篠木） 基本的な職業倫理と、子どもの最善の利益を保障することについて事例を通して考える
第 19 回	特別支援教育と養護施設における処遇について（笠） 特別支援教育の基本的な考え方と児童養護施設における処遇のあり方について学ぶ
第 20 回	実習日誌の意義と記入方法：施設（笠） 施設実習における実習日誌の記入方法について解説し、演習を用いて理解を深める
第 21 回	実習に関する事務手続きについて（篠木・池田） 保育所実習に関する事務手続きについて説明し、書類の作成などを行う
第 22 回	実習報告会１（篠木・笠・池田） ２年生の実習経験を聞き学びを深める
第 23 回	実習報告会２（篠木・笠・池田） ２年生による実習報告から、自分の課題を発見する
第 24 回	実習報告会の振り返り（篠木・笠・池田） ２年生による実習報告からえた学びをもとに、今後の自分の課題について考察する
第 25 回	保育所実習１の自己課題の設定（篠木・池田） 保育所実習１に向けて、自己課題をそれぞれ設定する
第 26 回	教材発表１（篠木・池田・笠） 保育所実習１に向けて作成した教材を指導案に沿って発表する。
第 27 回	教材発表２（篠木・池田・笠） 保育所実習１に向けて作成した教材を指導案に沿って発表する。　他の学生の発表に対しては、評価とコメントをする。
第 28 回	施設実習１・２の実習先の決定と確認（笠） 施設実習の実習先を確認し実習先への理解を深める
第 29 回	保育所実習Ⅰの直前指導と諸連絡（篠木・池田） 保育所実習の直前指導と書類の作成、実習中の連絡方法などについて説明する
第 30 回	保育所実習１の事後指導（篠木・池田） 保育所実習１のふりかえりを行い学びを深める
テキスト	全国保育士会　2009　『全国保育士会倫理綱領ガイドブック』　全国社会福祉協議会 守巧ら　2014　『施設実習パーフェクトガイド』　わかば社 『平成 29 年告示　幼稚園教育要領 保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育要領』チャイルド本社 『保育所保育指針解説』フレーベル館
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	なし

課題に対するフィードバックの方法	実習日誌や実習施設からの評価表等を用いて、実習事後面談をおこなう。
学生へのメッセージ・コメント	実習先の各施設に関する自主学習および実習課題設定のための自主学習を行ってください。 実習に出るためには、これまでの学びの成果を発揮する必要があります。保育所実習１に参加するまでに、１年次で学習した内容を振り返っておくようにしましょう。 また、絵本や手作り教材、てあそび等の教材研究の積み重ねも必要です。自主的かつ積極的に行うようにしてください。